

新学習指導要領 英語ショック

2025年度版

激変する難易度と「中1の壁」の正体

Analysis ID: #ENG-2025

01. 今、英語に何が起きているか（量的負荷の激増）

MODULE: QUANTITY

修了時習得単語数

親世代 (~2011)	1,200語
現行 (2021~)	2,500語 (2.1倍)
内訳: 小学校 700語 (前提) + 中学校 1800語 (追加)	MAX

Unit 1の「断絶」

旧教科書	Start slowly... "I am Tanaka Kumi." "You are Ken." ※アルファベットから丁寧に
新教科書	Full throttle! "I like soccer. I can play well." "Do you like it?" ※be動詞・一般動詞・助動詞が混在

小学校での「準備」が前提化。中1入学時点で600語以上の単語が「読めて書ける」状態でないと、4月の授業開始直後に脱落するカリキュラム構造になっている。

02. 評価基準の変化と「二極化」現象

MODULE: QUALITY

比較項目	旧基準 (Knowledge Base)	新基準 (Competency Base)
授業スタイル	訳読み・文法解説 先生が日本語で説明し、生徒は板書を写す。 「正解」を覚えることがゴール。	All English & Output 授業の大半が英語。文法用語は使わず、ペアワークで「自分の考え」を話す。
定期テスト	知識再生型 教科書本文の穴埋めや対訳。 暗記だけで80点以上が可能だった。	思考・表現型 初見の長文読解と、30語以上の英作文。 暗記だけでは50点も取れない。
入試傾向	減点法 (Accuracy) 細かいスペルミスや文法ミスを許さない 「ミスの少なさ」を競う競争。	加点法 (Fluency) 多少の間違いはあっても、大量の情報を処理し論理的に意見を述べる力が問われる。

▼得点分布の「フタコブラクダ」化



03. 唯一の対抗策「先取り×英検」戦略

MODULE: SOLUTION

戦略 01

小学校時代の貯金

中1の「Unit 1」で躓かないために、小6までに英単語600語（書けるレベル）を完成させる。これが全ての土台となる。

Target:

英検 5級・4級

戦略 02 (最重要)

中2での準2級取得

学校進度を無視して進む。中2終わりまでに「高校中級レベル（準2級）」を取得すれば、高校入試の英語は「満点」が狙える得意科目に変わる。

Target:

英検 準2級

戦略 03

ハイブリッド学習

- アプリで単語を無限演習
 - 対面授業で長文読解の思考法
- この役割分担で効率を最大化する。

Method:

Input x Output

英語は「積み上げ科目」。一度崩れると修復困難です。

まずは「現在の語彙力・文法力」を無料診断します。

体験授業を予約する